

# 幼保小の **架け橋** プログラムだより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。架け橋期の教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

## R5「幼保小架け橋プログラム」特別研修会

詳しくは



<1月25日開催> もう、申し込みは済みましたか!? **1月16日締め切り**

10月に実施した第3回接続期研修会では、国立特別支援教育総合研究所より久保山茂樹先生をお迎えしました。接続期の様々な不安を抱える子どもや保護者と向き合う中で大切にしたい「共感のまなざし」や、「少数派を多数派に寄せるのではなく、多数派を少数派に寄せる」という考え方への転換など、参加された方の心を大きく揺さぶるお話をたくさん伺うことができました。

さて、その第3回接続期研修会に参加できなかった方にも朗報です！今年度は**1月に特別回として、スペシャル対談が行われる**ことになりました！「架け橋プログラム」について学ぶ、またとない機会です。

すでに園や学校にチラシが配られていますがお覧になりましたか？ぜひ会場にお越しいただき、対談の熱気を味わってください。

## 会場がスゴイ！

会場：関東学院大学テナー記念ホール

ご存じですか？JR 関内駅の目の前、大通公園に面して建つ、ガラス張りのビル、関東学院大学のホールです。ここにはかつて、レンガ色をした横浜市教育文化センターが建っていました。

そのホールでの研修会の開催が実現しました。(写真：関東学院大学HPより)



## 実践紹介がスゴイ！

○園からは・・・

港北幼稚園 本名 愛純 教諭

○小学校からは・・・

初音が丘小学校 相澤 仁哉 主幹教諭

遊びや環境を通した学びを大切にしている港北幼稚園。幼保小連携を学校経営の中心に位置付けている初音が丘小学校。それぞれの実践を、夢中になっている子どもの姿を通して紹介させていただきます。

## 対談者がスゴイ！



大豆生田 啓友 氏  
玉川大学教育学部教授



大内 美智子 氏  
横浜創英大学  
こども教育学部教授

「相手が乳児であっても、子どもを一人の人間として見る」(大豆生田先生) 「園や学校は、子どもが思いを実現できる場所」(大内先生)  
それぞれのご著書や講演で語られた言葉に共感しています。お二人が大切にしていることが繋がりが合う対談が楽しみです。

わくわくしているコーディネーターより

